

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県備前市 備前病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ト透	教諭
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
30,816	7,566	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

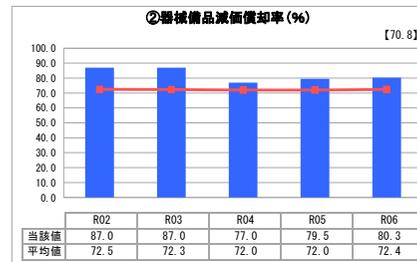
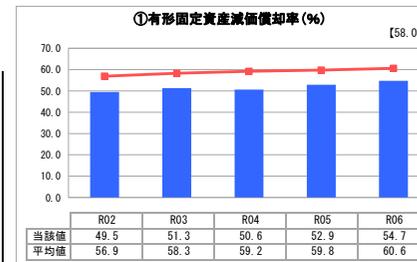
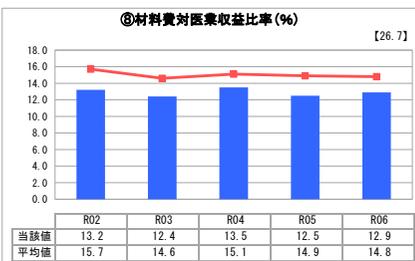
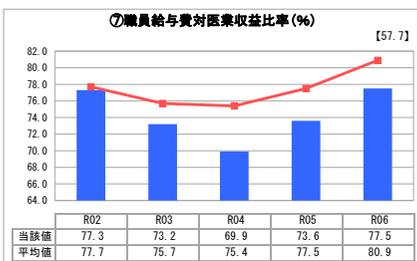
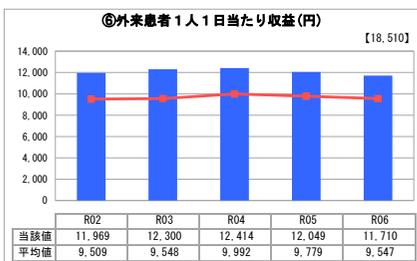
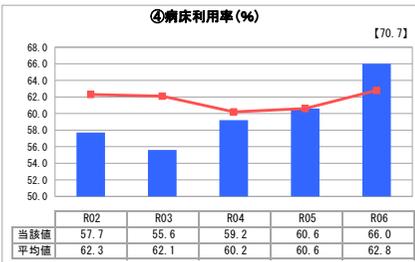
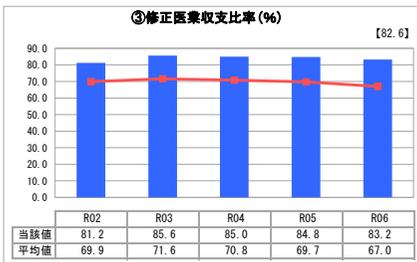
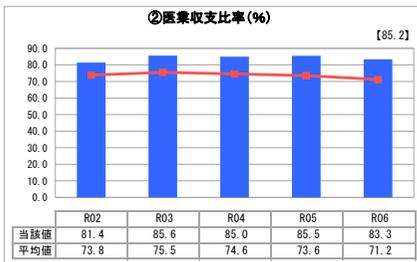
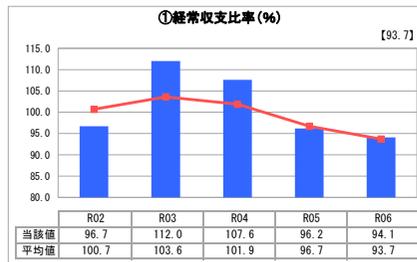
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
46	44	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
44	36	80

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の専従・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

自治体病院として、行政、医療機関、介護施設と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供するとともに、国保直診の目指す地域包括ケアの観点から、回復期を担う地域包括ケア病床、慢性期を担う療養病床の設置、リハビリテーションの充実、人工透析医療（16床）や各種健診事業のほか、介護保険事業として、介護老人保健施設（80床）、通所リハビリテーション事業（定員30人）、居宅介護支援事業、訪問看護ステーション事業も展開している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②医業収支比率、③修正医業収支比率ともに類似病院平均値を上回っている。コロナ以降も大きな減少になっていないため、今後も地域ニーズを把握しながら現状を維持していきたい。
④病床利用率は前年から1割程度上昇し、類似病院より上回っている。昨年度療養病床数を増やした影響が表れている。⑤入院患者一人当たりの収益が類似病院より低いことから地域のニーズとして回復期より慢性期の患者が増えていることが要因と考えられる。
⑨累積欠損金比率が上昇しているため職員数削減などによる経費の圧縮や加算の見直しによる収益の増収方法などを検討していきたい。

2. 老朽化の状況について

⑩有形固定資産減価償却率は、平成23年度の病院建て替えから年数を経るにつれ、徐々に高くなってきている状況であるが、全国、類似平均とともに下回っている。
⑪器械備品減価償却率は、全国平均より上回っており、医療機器類の老朽化が進行している。そのため、定期的な保守と修繕を実施することで、適切な状態を維持していく。併せて後は更新時期を迎えるものも多い。特に電子カルテや放射線機器など高額な医療機器については、使用頻度や費用対効果、運用方法などを検討し計画的に行っていく。
⑫1床当たり有形固定資産は、類似平均より上回っているが、これは、併設の老人保健施設の償却資産が含まれているためであり、病院単体では両平均値を下回っている。

全体総括

賞上げや物価高騰による経費の上昇により経常収支比率は落ちこんだものの、病床機能の転換により医業収支比率や病床利用率など医療活動については大きな減少とならなかった。しかし施設の老朽化や様々な経費が高騰しているため今後は今まで以上に経費削減と収益の増収を実施していく必要がある。今後は新たに地域に求められる診療科の検討や加算項目の再確認を行い、収益の上昇を目指していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県備前市 日生病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	訓	教諭
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
30,816	6,545	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
40	52	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	92
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
35	47	82

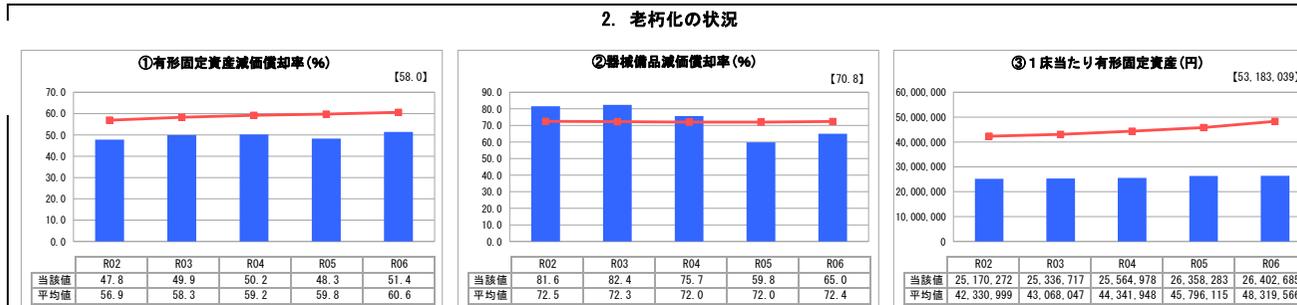
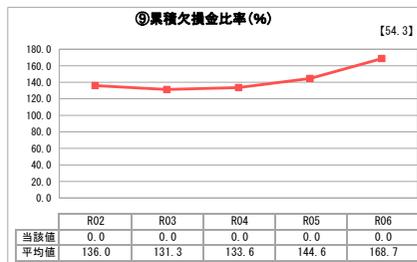
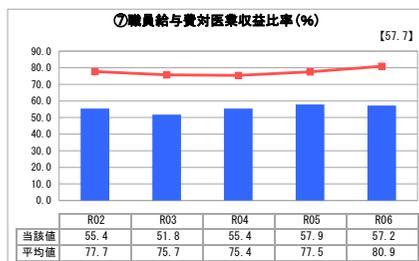
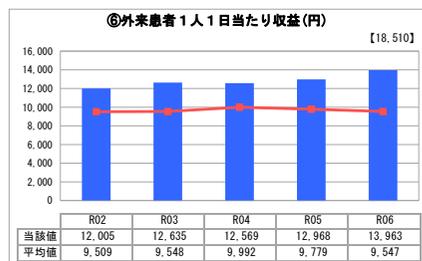
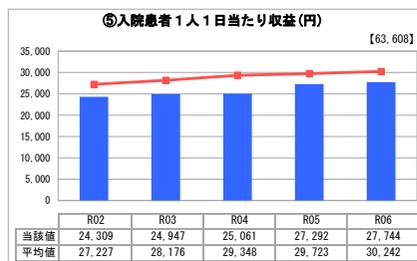
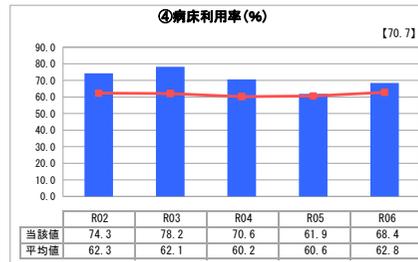
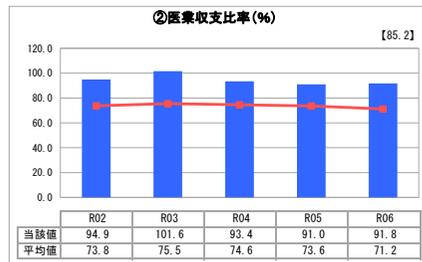
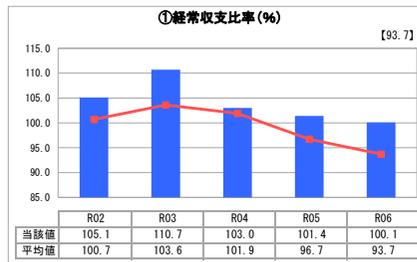
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の病院・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

当院は、救急告示施設、病院群輪番制等二次救急医療機関として救急医療を提供するとともに、入院機能を持つ医療機関として、急性期から慢性期の幅広い病床機能を提供する役割を担っている。
人間ドックや特定健診等を積極的に受け入れることで地域における予防医療の推進に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②③④⑤⑥の指標についてそれぞれ前年の数値を上回っていて、かつ①経常収支比率が100%を上回っていることから、健全な経営状態であると考えられる。
⑧材料費対医療収益比率は、類似病院平均値より高い状況にあるが、これは当院が院内薬局となっていることから、薬品等に係る費用が大きいためと要因と考えられる。
今後の人口動向、高齢化率及び病床利用率等を注視し、適正な病床数及び病床機能を検討するとともに、慢性期を担う療養病床やリハビリテーションの充実を図り、患者のニーズに応える病院として、その機能を充実させることにより、効率的な病院経営に努めたい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似病院平均値より低い。これは、平成18年度の病院建設から年数がさほど経過していないことが要因と考えられる。
②器械備品減価償却率は、電子カルテ等の更新により類似病院平均値を下回る結果となった。
建設から約20年が経過し、随所に老朽化等による修繕の必要性が生じているため、今後は、予測される大規模修繕等に備える必要がある。

全体総括

患者の病状的確に把握し、より専門的な治療が必要な場合は最適な医療機関に繋ぎ、容体が安定した後は当院での治療を継続していくといった「地域を担う病院としての役割」を常に心がけ、「かかりつけ病院」としての役割を果たすことで、これからも地域住民に信頼され、必要とされる病院であり続けるよう努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県備前市 吉永病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	-	ト透	教諭
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
30,816	5,550	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

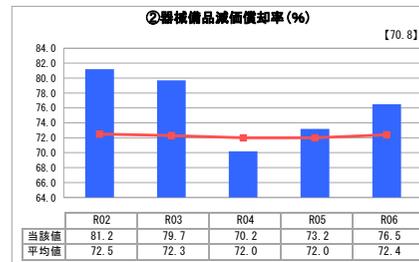
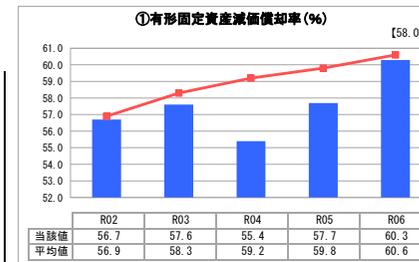
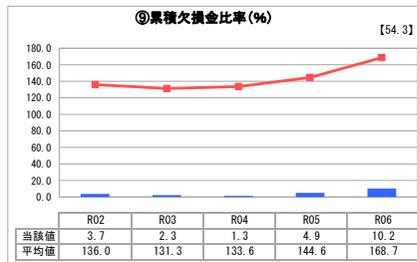
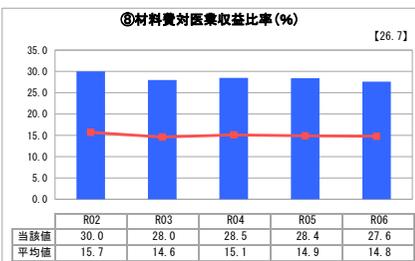
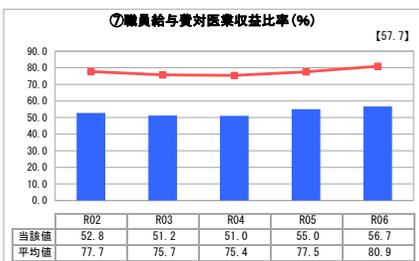
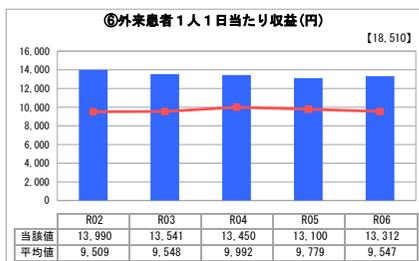
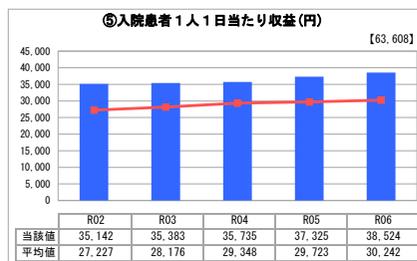
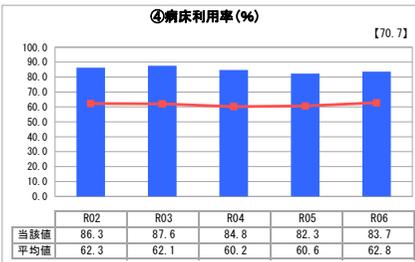
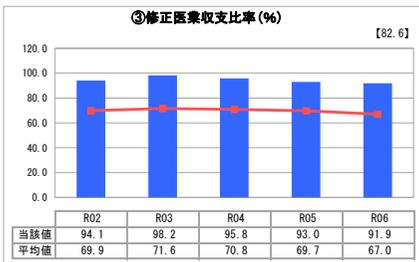
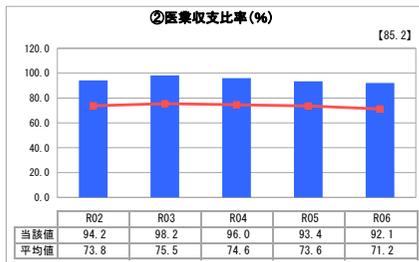
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
50	-	50

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の業務・ネットワークを基に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

診療圏は、備前市内では吉永地域、三石地区及び伊里地区、並びに隣接する和氣町が主な地域となるが、岡山市や上郡町など市外・県外からの患者の方にも利用されている。半径4km以内に民間診療所が1か所しかないという立地条件のため、土曜日診療や夜間受付窓口を19時まで開けるなどして地域医療の確保に努めている。

また、非常勤医師の応援により、多くの外来診療科を設け、様々な疾患の患者を受け入れるとともに、年間250件を超える手術を行うなど、この地域で可能な限りの医療を提供できるよう努めているほか、救急医療、へき地医療、小児医療、人工透析医療、在宅医療、各種健診事業、保健衛生活動、学校医、産業医、介護施設の協力医など幅広い役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②③④⑤⑥⑦の各指標は類似病院平均値に比べると比較的良好な状態であるが、コロナ以降の患者数減少傾向や、人件費の高騰と言った不安要素が山積しており、非常に厳しい状況である。

⑧材料費対医療収益比率は、類似病院平均値の倍近い数値となっており、当院が院内薬局での運用であるとはいる。給与費と合わせた比率で分析するなど、対策を考える必要がある。

⑨累積欠損金比率は、建替や計基準の改正の際の除却等により発生した欠損金が主なものであったが、近年は純損失の発生によって比率が上がっている。

多くの病院で経営状況が厳しくなっており、現状での早期解消は難しい状況であるが、新たな施設基準の届出に取り組み等、経営の健全化・効率化に努めたい。

2. 老朽化の状況について

⑩有形固定資産減価償却率は、令和4年度の電子カルテの更新によって一時的に類似病院平均値より低くなっていたが、高額な医療機器の更新は経営上困難になってきており、財源の確保を含めて検討する必要がある。

⑪器械備品減価償却率は、定期的な保守を実施することで、器械備品を法定耐用年数以上使用しているため、類似病院平均値より高くなっている。

⑫1床当たり有形固定資産は、病床が50床と入院施設が小規模である一方で、診療科が20科と外来機能の規模が大きく、医療機器も充実していることから、類似病院平均値より高くなっている。

全体総括

今後、少子高齢化が進行し、患者数の減少や医療従事者の確保困難が見込まれる。ホームページの充実などの広報活動に注力し、患者にも職員にも選ばれる病院を目指したい。

地域医療の提供体制を持続可能なものとするために、自院の役割を明確化した上で、最適な機能の選択や、病院間の連携を強化し、効率的な事業運営に努めるとともに、市民の安心につながる救急医療についても24時間体制での受入を継続する。

また、地域包括ケアシステムの中核として、地域内の他の診療施設や、周辺地域の急性期病院等と連携しながら、この地域で可能な限りの医療を提供できるよう引き続き努めていきたい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。